

今までの授業

- ①ICTを活用して実物やモデルを例示し、基本的な用語や知識の正確な理解を促している。
- ①問題集や小テスト等を利用して、繰り返し学習をさせ、基礎的な知識の定着を図っている。
- ②思考力や読み解く力の習得のため、観察・実験の結果から考察する時間の確保、教え合い活動や対話の機会を設定している。
- ③探究的な課題を設定し、生徒に話し合わせたり、調べたりすることで、個人の学びに向かう機会を設けている。

今回の調査結果

- 1 年生
日野市学力調査から、地学分野に関しては多くの生徒が未定着である。また、物質・エネルギー、水溶液の性質に置いては二極化が見られた。
- 2 年生
定期テストの結果や実験中のようすなどから、関心の度合いや授業への集中力に不足が感じられる。
- 3 年生
全国学力・学習調査の結果が全国平均を上回っており、学力が向上している。その中で化学式や化学反応式に苦手意識があるように感じられた。

課題

- 1 年生
授業では意見の発言も多く、意欲的である。基本的な用語や知識の学習方法が見いだせていない生徒が多い。
- 2 年生
反復練習を要する課題に対して時間をかけて自主的に向き合うことが困難で定着しない。
- 3 年生
定期テスト・学力調査の結果から、論理的・批判的な思考力に関する問題の正答率に課題を残している。
また、文章で答えるような表現の問題について苦手意識が多い。

授業改善の具体的な方策

第1 学年

【授業を改善すること】

- ①授業アンケートから、ICTを活用して実物やモデルの例示に改善できる点があることが分かった。教材研究を深め、明確な指示や説明に努める。自作教材を活用した小テストを実施する。
- ②記述に関しては定着度が二極化の傾向があるため、習熟度別指導のほか、実験・考察での班活動で教え合いを行う。
- ③学習内容と最新の社会的課題を結び付けてテーマを設定し、自らの問いを持ち、探究を行う機会を設ける。

第2 学年

【授業を改善すること】

- ①興味関心を引き出すトピックがどこにあるのか、いろいろ提示して生徒それぞれに合ったものを探していく。
- ②授業内容や実験操作の指示などはスモールステップに刻みながら、集中を促していく、
- ③必要な努力目標を具体的に提示し、各自へ取り組みの度合いをフィードバックすることで自己改善を促していく。

第3 学年

【授業を改善すること】

- ①授業アンケートの結果からICTの活用に課題があることが分かった。実験を行うだけでなくまとめの際には映像を見せるなど、教材に工夫を施す。
- ②完璧な解答を求める傾向が強く、文章で答える問題などは、初めから模範解答を写し、自らの答えを持たない生徒が多い。授業内で「自分の言葉で書く時間」、「相手に伝える時間」を作り出すことで表現力の向上を目指す。
- ③理科に興味を湧くように普段から身のまわりとのつながりを意識しながら授業を行う。